

2024年度活動報告（案）

① 岸田・石破政権の大軍拡に反対する運動。

ミサイル部隊の配備は南西諸島のみならず、九州まで及んでいます。弾薬庫建設、民間施設の利用、基地の地下化なども全国に及んでいます。長射程ミサイルの配備も25年度に進められます。敵基地攻撃能力をもつ長射程12式地对艦誘導ミサイルや高速滑空弾の開発配備、極超音速誘導弾の開発・製造がすすんでいます。開発・生産をしている三菱重工小牧北工場への抗議・要請行動（申し入れ・2025年2月3日）にとりくみましたが十分なものではありませんでした。今後強めていく必要があります。

西日本におけるミサイル配備の起点は三菱重工小牧北工場にある、この問題意識から「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」結成集会に参加しました。どのようにかわれるかは今後の課題です。

自衛隊と米軍は10月23日から11月1日まで、九州・南西諸島を中心に「台湾有事」を想定して日本全域で4万5000人を動員し「キーンソード25」が実施しました。高蔵寺弾薬庫では陸自と空自が協同基地警備を行いました。小牧基地所属の輸送機や給油機も訓練に参加し、名古屋港からは民間船を使って九州・沖縄への自衛隊員、兵器を輸送したと思われます。10月16日に東海防衛支局に訓練の中止と名古屋空港・名古屋港の使用をしないよう申し入れをし、愛知県に対しても県営名古屋空港を使わせないよう申し入れしました。

不戦へのネットワークの企画としては、4月20日「戦争虐殺加担を止めよう」杉原浩司さん（武器取引反対ネットワーク）、10月8日「戦争準備を止めよう」飯島滋朗さん（名古屋学院大学教授）、2025年2月1日「本当に中国は攻撃して来るのだろうか」高井弘之さん（ノーモア沖縄戦・えひめの会）の講演会・学習会をおこないました。

小牧基地への月1回申し入れは他の2団体とともに続けてきました。また、毎月第1土曜日は、戦争をさせない1000人委員会あいちと東海民衆センター、不戦ネットの3者で街頭宣伝を行いました。

ヴェテランズ・フォー・ピースやアジェンダプロジェクトからの要請があり愛知県基地・軍事企業のツアーのガイドをしました。

② イスラエルのガザへのジェノサイド攻撃をとめるために結成されたガザ緊急アクションなごやに運営委員として参加しています。不戦へのネットワークとしては「連絡先」担当となっています。現在、まがりなりにも結ばれた停戦合意はトランプの了承のもと、イスラエルにより破られ、攻撃が「再開」され、緊急人道援助も止められています。犠牲者数は5万人以上となっています。ヨルダン川西岸でのパレスチナ人の土地とりあげ、住民追い出しの暴力も激しくなっています。隔週での集会・デモを続け、週1回の街頭宣伝を行い、イスラエル製ドローンを輸入するなとして輸入代理店抗議もつづけてきました（海外物産、日本エアークラフトサプライ、住商エアロシステム、川崎重工）。

愛知県のイスラエル企業とのマッチング事業をやめるように要請行動、県議会への陳情にもとりくみました。年金をイスラエル政府、軍事企業に投資するな！の行動もしました。国会議員要請行動も続けています。この運動は「停戦」までの行動と位置づけてきましたが、先行きが見通せない状況で長期のものとなっています。残念ながらより一層悲惨な展開も予想されます。不戦

へのネットワークとしては5月30日総会記念講演「ガザ虐殺：日本の対応と市民ができること」
今野泰三さん（中京大学教授）の講演会を行いました。

③ 各団体への加盟と協力、交流。

あいち平和のための戦争展に実行委員として参加し、「社会まると戦争体制」の展示を行いました。

あいち総がかり行動に運営委員と事務局として参加し、毎月の19行動などを取り組みました。

1000人委員会あいちの運営に参加し、泉川友樹さんを講師に「中国は脅威か？！ 経済関係から検証する」の企画に取り組みました。また、月1回の街宣行動もとりました。

あいち沖縄会議の運営に参加し、与那覇恵子さんを講師に『「沖縄から見える日本」 ～4.28は主権回復の日か？』、北上田毅さんを講師に、『辺野古新基地を とめるために できること』の講演会を企画しました。また、月1回の街宣行動を継続しています。

名古屋NGOセンターの理事として運営に参加しました。

韓国併合100年東海行動に参加し羽場久美子さん（「東アジアの平和的共存における日朝関係回復」）や愼蒼宇さん（「殖民地戦争の視点から日本の殖民地責任を問う」）の講演会を行いました。

※月2回の事務局会議の開催。

※2024年はニュースを3回発行